

秦野市手をつなぐ育成会会報

令和3年
第372号

— 5月号 —



広報推進委員会
発行責任者：相原和枝
(連絡先：84-2241)

【目次】

- * 令和3年度4月幹事会の報告————— 1
- * 2021年度定期総会の報告————— 2
- * 秦野市地域生活支援センター「ぱれっと・はだの」座席表————— 3
- * 委員会・支部報告・私の独り言————— 4~5

【行事予定】

- *5月1日(土) ◆ 5月定例理事会⇒幹事会 (第4会議室) 10:00~12:00
- *5月8日(土) ◆ 第4回秦野市手をつなぐ育成会地域支援勉強会
『緊急時の受け入れ・対応』10:00~保健福祉センター多目的ホール
- *5月9日(日) ◆ こうぼう山の会総会(教養倶楽室) 10:30~11:30 (受付10:00~)
- *5月29日(土) ◆ ヤングマンクラブ ⇒ 中止

- *6月5日(土) ◆ 6月定例理事会⇒幹事会 (場所は未定) 10:00~12:00

会員の皆様へ

会員の皆様のご協力もあり、無事に総会を開催することが出来ました。
まだまだ世の中は変異株やら緊急事態宣言と落ち着きませんが、コロナ対策は引き続き
お願いいたします。



《秦野市育成会ホームページ》

hadanoikuseikai.com

令和3年度4月 幹事会報告

4月3日(土)10:00～12:00 保健福祉センター第4会議室 [出席14名]

会長挨拶	◇桜も散り始めてきました。本日は議題が多いので宜しくお願いいたします。
会報について	<p>【4月号会報の説明】</p> <p>☆訂正;P.5「緊急時の対応について」山口浩直成会副会長→常務理事 高等部の卒業生が2名いられます。おめでとうございます。</p> <p>【委員会報告】</p> <p>* こうぼう山の会支援;総会は役員のみとし、会場は教養娯楽室に変更します。外部からは入野障害福祉課長をお呼びし、育成会本部からは会長、副会長に出席して頂く予定です。参加人数はこれから集計します。総会は1時間程度の予定。(福島)</p> <p>* 災害対策;活動なし。</p> <p>* 地域支援;活動なし。</p> <p>* 事務局;①「パートナー」配布 ②マリンバコンサートチケット販売…ご協力いただき有難うございました。 人数を絞ってコンサートを開催するそうです。</p> <p>【支部報告】</p> <p>* 各支部⇒会報通り 支部会をそれぞれ予定していますのでご参加下さい。 (大根鶴巻) 計報のお知らせ: 橋本正敏様 お悔み申し上げます</p>
総会資料について	◇総会資料の確認…事業報告、委員会活動報告、支部活動報告、予算、決算等 訂正ある場合は早めに報告ください。次回幹事会にて最終確認します。
役員活動費について	◇会の収入減により、役員活動費を3割カットさせていただきます。⇒承認 (相原)
予算配分について	◇財源が厳しくなっていく中で、予算についても収入が見込めない為、7割計算で予算を立てさせていただきます。但し、活動しなくても良いと言うことではなくコロナ対策をしながら活動してください。(相原)
こうぼう山の会決算等について	◇決算、予算共に収入の科目は受託金⇒委託費とし、備考欄には知的障害者本人活動支援事業と記載。
総会資料印刷について	◇4月17日(土)10時～幹事のみで資料製本作業を行います(事務局は9時集合)。
緊急一時体制の勉強会について	◇5月8日(土)10時～多目的ホール(当日はコロナ予防対策を行います) 当日は藤村氏をコーディネーターに社協、基幹、地域共生、障害福祉課長等、お招きしてモデルケースをもとにどのような対応・支援をしていくかのケース会議を行います。 育成会のみ勉強会になりますので、ぜひ会員の皆様に来て頂けたらと思います。 各支部長はとりまとめをお願いします。
その他	◇事務局会議;4月24日(土)13時～団体事務室

事務局 近藤

2021年度定期総会のご報告

4月24日(土) 秦野市手をつなぐ育成会2021年度定期総会が入野障害福祉課長にご参加いただき、無事終了いたしました。

コロナ感染予防の為、例年の様な総会の開催は難しく、会員の皆様には委任状での議決参加という形をとらせていただきました。

委任状 213名 参加者 14名で、会則 27条 4項に基づき会員の過半数で総会が成立しました事をご報告いたします。

会計監査も、茂木監事によって報告されました。

事業報告では、コロナ禍で、例年の行事は中止が多かったのですが、会員の皆様の安否確認をさせて頂く意味で、防災用品の全戸配布、年末にはクリスマスプレゼントの配布をさせて頂きました。その折に会員の方の入院等の報告があり改めてコロナ禍での交流が難しかったかを痛感しました。

その中でも、会報作りは継続し、月一回の幹事会の報告を致しました。

各支部も感染予防に注意しながら支部会、勉強会等を開催しています。そこでコロナ禍での困り事などを話し合っているようです。もし何か困っていることがありましたら各支部長にお知らせください。

今年度もどこまで行事等が出来るかわかりませんが、感染に注意しながら出来る事から始めていきたいと思えます。

その第一歩としまして、5月8日(土) 10:00～保健福祉センター多目的ホールに於いて緊急一時体制の勉強会を開催いたします。多目的ホールの定員の半以下で開催いたします。皆様是非ご参加ください。

また、今年度役員改選ですがコロナ禍の折、現在の幹事、理事で継続させていただきます。

今年度理事として10年にわたり活躍されている広報推進委員会 副委員長長の黒川貴子さんが功労者として表彰されました。おめでとうございます。

相原



〈当日の様子〉



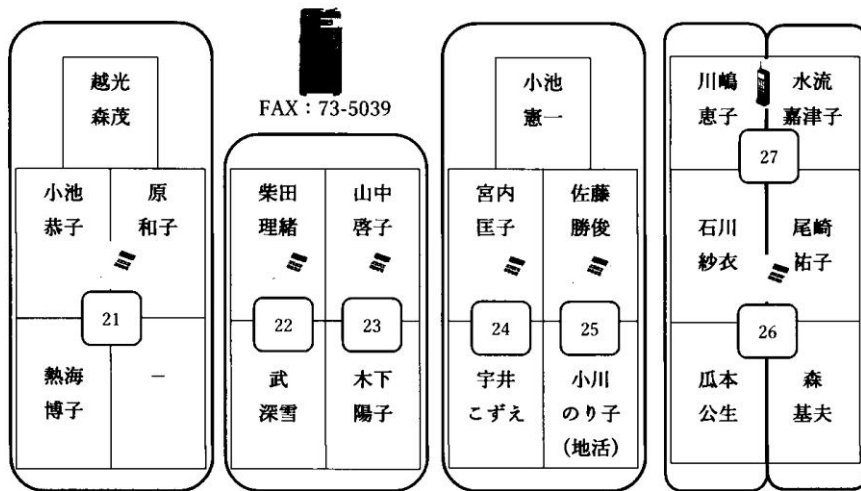
〈左から黒川さん、相原会長〉

秦野市地域生活支援センター“ばれっと・はだの”座席表

2021年4月1日現在

【2階 事務室】

窓側



受付/カウンター側

【事務局・総務】	【成年後見】	【相談支援】	【地域活動支援】	【就労支援】
71-5701	80-2940	80-3294	80-3294	71-5720

- 【事務局・総務】 TEL0463-71-5701
 事務局長：越光 森茂 主任：小池 恭子 原 和子 熱海 博子
- 【成年後見】 TEL0463-80-2940
 主任：山中 啓子 武 深雪 柴田 理緒 木下 陽子
- 【相談支援】 TEL0463-80-3294
 担当課長：小池 憲一 宮内 匡子 佐藤 勝俊 宇井 こずえ
- 【地域活動支援】 TEL0463-80-3294
 主任：川嶋 恵子 主任：瓜本 公生 小川 のり子 石川 紗衣
- 【就労支援】 TEL0463-71-5720
 森 基夫 尾崎 祐子 水流 嘉津子

『委員会報告』

〈こうぼう山の会支援委員会〉

☆4月5日（月）10時～12時、保健福祉センターで「こうぼう山の会」支援委員会の定例会を開きました（参加者：9名）。

5月9日（日）に予定されている「こうぼう山の会」総会について最終打ち合わせをしました。

4月10日（日）9時半～11時半、保健福祉センター多目的ホールで「こうぼう山の会」の役員会を開きました（参加者：本人14名、支援者10名）。

「こうぼう山の会」総会の資料を作り、当日の役割分担を決めました。 （福島）



『支部報告』

〈東支部〉

○4月14日（水）定例会 イオンフードコート 4名

*幹事会の報告

*総会について

*緊急一時の勉強会について他

○4月23日（金）地区社協理事会&総会 13:30～ 東公民館

・今後の予定 5月19日（水）緊急一時体制の勉強会 10:00～ ぱれっと・はだの

〈西支部〉

○4月15日（木）定例会 10:00～ 西公民館 参加者8名

*緊急一時体制の勉強会のお知らせ

*会員それぞれの近況報告等、話し合いました。

・今後の予定 5月12日（水）定例会 10:00～ 西公民館

〈南支部〉

○4月10日（土）役員会 14:00～ 福祉センター 3名

*総会について

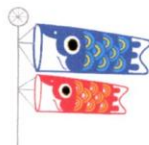
*6月の民児協様との交流会について

〈北支部〉

○4月8日（木）支部会 北公民館 12名

*久しぶりの支部会に皆さんの笑顔が印象的でした。

・今後の予定 5月20日（木）支部会 10:00～ 北公民館 創作活動室



〈本町支部〉

- 4月16日(金) 定例会 13:30~15:30 ぱれっと・はだの 5名
- *会員の集金
- *昨年度の活動報告と会計報告、今年度の活動計画
- *連絡網について…今後、電話かメールか連絡方法を確認する。
- 久しぶりの定例会でした。皆さんお元気で良かったです。



〈大根鶴巻支部〉

- 3月25日(木) 社協障害部会「広畑プラザ」13:30~14:30 参加者2名
- 4月6日(木) 支部例会 10:00~12:00 大根公民館 参加者9名
- *理事会報告
- *「緊急時の対応について」山口常務理事よりの講話
- ・今後の予定 5月6日(木) 支部例会 10:00~ 大根公民館

《訃報》

大根鶴巻支部の橋本正敏様がお亡くなりになりました(4月1日逝去)
心よりご冥福をお祈り申し上げます



私の独り言

私の愛娘は中井やまゆり園でお世話になっており今年で4年目になります。
入所後の楽しみは毎週末に帰宅し暗くなるまでドライブする事です。
お迎えに行っても家に帰って来ても車からは降りずに、そのままドライブの始まりです。
2時間ほど走って車の中でかんたんな昼食、更にドライブの再開、暗くなるまでは決して車からは降りません。
一日の走行は8時間以上、距離も200Km以上になります。
その楽しみもコロナの蔓延防止に伴う緊急事態宣言の発令で施設はロックアウト、昨年3月から1年と2か月、娘の顔さえ見る事が出来ていません。
コロナが蔓延する前は、毎週土日は帰宅して私と(が)ドライブするのを楽しみにしていたのですが、本当に寂しい限りです。
園からは毎月娘の現状について、写真とお便りが届きます。さぞかし寂しがっているかと思っていたら、意外にもさばさばとマイペースでやっているようで親としてはほっとするやら、寂しいやらと複雑な心境です。
障害のある子を持つ親として、親亡き後「この子はどうなるのか」の心配は絶えませんが、この1年間の様子を見る限り、子供は子供なりに何とかやっつけていけるのかな?と、かすかな安堵を覚えた次第です。
心配するのは親だけで、子供は意外と平気なのかな?

事務局 藤原